

MBC ラジオ『ここが聞きたい！ドクタートーク』2026.5.9

第 1201 回放送分『子宮頸がん』2 回目

ゲスト：小林裕明ドクター

二見いすず

今月のドクタートークは「子宮頸がん」をテーマにお送りしています。

お話は、3月まで鹿児島大学医学部産科婦人科にいらっしゃった

小林裕明（こばやし ひろあき）ドクターです。

小林さん、よろしく願いいたします。

小林裕明Dr.

よろしく願いいたします。

二見いすず

先週は、子宮頸がんは早期の I 期であっても

子宮を失う手術が標準の治療であること。

そうならないために、その前の前がん病変の段階で見つけることが

大切というお話でした。

そもそも子宮頸がんになるのは、どのようなことが原因なのでしょうか？

小林裕明Dr.

子宮頸がんの原因は 9 割 5 分以上がヒトパピローマウイルス、

略して HPV です。普通の性交渉でうつります。

二見いすず

そうなんです。

小林裕明Dr.

HPV には 200 種類以上の型があり、そのうちがんをつくる HPV は 20 種弱くらいです。さらにそのうちの 9 割弱が 7 種の型に当てはまります。

今の 9 価ワクチンなら、この 7 種の型をすべてブロックしますので、

9 割以上予防できることになります。

二見いすず

9 価ワクチンを打つと、ほとんど予防できるんですね。

小林裕明Dr.

ちなみに一生の中で女性の 6 割から 7 割は、この発がん性 HPV に感染します。

二見いすず

そんなに多いんですか？

小林裕明Dr.

普通に男女間で共有するウイルスですが、幸いなことに HPV に感染しても子宮頸がんになる人はまれです。

1 万人女性がいたとして、6 割つまり 6 千人が発がん性 HPV に感染したとします。でもそのうちの 9 割は身体がウイルスを排除するんです。そして感染者の 1% くらいが、異形成という前がん病変になります。

二見いすず

そうなるよこの段階で、60 人くらいということですね。

小林裕明Dr.

はい。でもその 60 人の中でも 9 割ぐらいは自然治癒しますので、最終的に子宮頸がんまで進む人は 6 人という計算になります。

二見いすず

ということは、HPV に感染した 1,000 人に 1 人が子宮頸がんになるという割合ですね。

小林裕明Dr.

はい。すごく怖がるような割合ではないですが、想像してみてください。千人に 1 人の割合が、ワクチンを打つことによって 0 になるのなら、とてもいいと思いませんか。

二見いすず

はい、そうですね。

小林裕明Dr.

ただ風疹などの感染症に対するワクチンと違って、HPV ワクチンの効果が現れるのは 10 年後から 30 年後なので、これまでその重要性がなかなか社会に認知されにくいという事実がありました。

ちなみに HPV ワクチンは生ワクチンではないので、発がん性などの病原性はなく、とても安心なワクチンです。

このワクチンを筋肉に打って免疫細胞に覚え込ませます。

打つタイミングとしては性交渉デビューする前がベストですので、国は小 6 から高 1 の間に無料の定期接種を提供しています。

ワクチンを打って HPV に対する体の免疫力を高めておくことで、発がん性 HPV が子宮に感染するのを防ぐことができます。

二見いすず

よく分かりました。今月は「子宮頸がん」をテーマにお送りしています。お話は小林裕明さんでした。小林さん、ありがとうございました。

小林裕明Dr.

ありがとうございました。